

期 日：平成27年10月9日（金） 10:00～17:00  
（受付開始 9:00）

場 所：国立科学博物館・講堂

東京都台東区上野公園7-20

<http://www.kahaku.go.jp>

TEL: 03-5777-8600

最寄駅：JR上野駅(公園口)

参加費：会員:3,000円 非会員:5,000円

学生会員:1,000円

※ポスター演題募集中(9月9日締切)



受付後、参加証提示で科博常設展が無料見学できます。

## 20周年記念シンポジウム

20周年特別企画Ⅰ (10:10～12:10)

**ヒトの乳腺炎と牛乳房炎の特徴を比較してみる**

**基調講演：**ヒトの乳腺炎の特徴とその診断、治療について  
涌谷桐子（NPO法人日本ラクテーションコンサルタント協会）

**討論講演：**牛乳房炎の特徴とその診断、治療について  
河合一洋（麻布大学）

★乳房炎研究会の歩みを顧みて～免疫学、炎症生化学の側面から～  
小原嘉昭（明治飼糧株式会社） (13:30～13:50)

20周年特別企画Ⅱ (13:50～16:15)

**乳房炎の予防を考える**

**特別講演：**乳腺組織内における細菌のバイオフィルム形成について  
Antoni Prenafeta（HIPRA社）〔通訳付〕

**討論講演：**粘膜免疫機構からみた乳房炎ワクチン開発の可能性  
林 智人（農研機構・動物衛生研究所）

★乳房炎地方協議会等と連携した乳房炎研究を目指して  
河合一洋(麻布大学)、林 智人(動衛研) (16:20～16:40)

●ランチョンセミナー（共立製薬(株)協賛）(12:20～13:00)  
ワクチン・乳房炎コントロールの一つの手段～ヨーロッパの経験～  
Michal Pochodyla（HIPRA社）〔通訳付〕

■日本乳房炎研究会総会 (16:45～17:00)

◆情報交換会 (17:30～19:30)  
国立科学博物館(講堂) 会費別途:4,000円

問合せ先：日本乳房炎研究会・事務局

〒981-8555 仙台市青葉区堤通南宮町1-1 東北大学大学院農学研究科内

TEL:022-717-8704 FAX:022-717-8880

e-mail: nipponmastitis@ml.affrc.go.jp

事務局長：林 智人((国研)農研機構・動物衛生研究所)

ホームページ：<http://www.agri.tohoku.ac.jp/keitai/nyubou/index-j.html>

# 日本乳房炎研究会 第20回学術集会